

## 令和4年3学期終業式 式辞

皆さん、新年あけましておめでとうございます。この年末年始、どのような時間を過ごしましたか。2学期の終業式では、私から少し厳しい話をしました。学校生活がルーズになっている心当たりのある人は、あと2か月しっかり学校生活を送ってください。

さて、2024年、令和6年の幕開けに、夢と目標の話をしたと思います。2学期の始業式で、夢の話を皆さんにしましたが、覚えていますか。「夢は見つけるものではなく、見つかるものである」言っている意味を理解できますか。今夢を持っていない人。心配する必要はありません。一生懸命生きていれば、そのうち見つかります。

夢は持っていなくてもよいですが、目標は必ず持って日々を過ごしてほしいと思います。では、夢と目標の違いは何でしょう。わかりやすいたとえ話をすると、校舎の窓からはるか遠くに見える葛城の山並みが夢で、日根野のイオンの看板や泉佐野のセンタービルが目標です。その違いは、遠くにボヤっと見えている山並みは、そのどこに行くのか、どうやって行けばたどり着くのかはわからないと思いますが、日根野のイオンは、どう行けばたどり着けるのかは誰でも知っていると思います。そこに向かって歩くことさえすれば必ずたどり着ける場所だということです。少し遠いですが、センタービルもしっかり目標として見据えて、少し長く一生懸命歩けば、必ずたどり着けるはずです。

すなわち、目標とはそれが具体的であり、そこに到達する、叶える方法が明確であり、あとはその目標を持った本人が、そこに向けての必要な努力をすることがどうかで決まる。そういうものだと思います。

近畿大学に行きたい。何とか進級して2年生になりたい。クラブでレギュラーになりたい。看護師になりたい。これらすべての目標はどうすればたどり着けるのかはわかっています。あとはそこに向かって努力を続けるかどうかです。

この一年の最初に、一年の目標を立てましょう「一年の計は元旦にあり」。この新たな年の初めに、何か新しい目標をもって、それに向かって毎日の小さな努力を積み重ねましょう。

今年、皆さんが目標に向かって努力を積み重ね、何かしらの目標にたどり着けることを心から願っています。